

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学 校 名	国際医療福祉専門学校一関校
設置者名	学校法人 阿弥陀寺教育学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	本校ホームページ https://imwc-ichinoseki.ac.jp/学校概要/学校法人及び関連校について
収支計算書又は損益計算書	本校ホームページ https://imwc-ichinoseki.ac.jp/学校概要/学校法人及び関連校について
財産目録	法人窓口で請求があれば公表
事業報告書	本校ホームページ https://imwc-ichinoseki.ac.jp/学校概要/学校法人及び関連校について
監事による監査報告（書）	本校ホームページ https://imwc-ichinoseki.ac.jp/学校概要/学校法人及び関連校について

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士			
医療		医療専門課程		救急救命学科		○					
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総 単位数		開設している授業の種類							
				講義		演習		実習		実験	
2 年	昼間	7 3 単位		45 単位				28 単位			
				7 3 単位							
生徒総定員数		生徒実員		うち留学生数		専任教員数		兼任教員数		総教員数	
6 0 人		6 1 人		0 人		4 人		9 人		1 3 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・ 科目名、開講時期、単位数及びコマ数、授業区分、担当教員、目標、授業概要等を記載した授業計画書（シラバス）を作成している。 ・ 初回の講義時に、授業の到達目標等を示している。
成績評価の基準・方法
（概要） ・ 学則及び細則において、各科目の修了試験の実施方法、受験資格、単位認定の方法、教育課程の履修及び卒業に関して定めている。 ・ 各科目の成績評価は、各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、総合的に勘案して行う。 ・ 修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価は不可とする。 ・ 修了試験の結果が「D」の者への再試験、再試験の結果が「D」の者への最終試験の受験機会を与えている。
卒業・進級の認定基準
（概要） ・ 進級を満たすためには教育課程で示してある各科目において、各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達した者が各科目の成績評価を受けることができる。 ・ 各科目の修了試験、再試験、最終試験において、「C」以上の判定となり、各学年の履修科目全てにおいて合格となり、修了認定を受けた者が進級となる。 ・ 当該学科の全科目の修了認定を受け、かつ卒業試験に合格した者に卒業を認める。

学修支援等
(概要)
学生個々の課題を明確にして、課題に応じた教員のアドバイスにより、早期に課題解決を図っている。 また、進度の遅れている学生には課題を課すなど、進度の遅れを解消するようにしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
26 人 (100%)	5 人 (19.2%)	19 人 (73.1%)	2 人 (7.7%)
(主な就職、業界等)			
地方公務員（消防官）、病院、福祉施設 等			
(就職指導内容)			
学生の大半が公務員（消防官）を希望していることから、授業の一環で公務員試験対策を実施し、外部講師による教養試験対策、教職員による面接試験対策を実施している。			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
救急救命士			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
59 人	1 人	1.7 %
(中途退学の主な理由)		
進路変更、成績不振		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
各クラスには担任を配置し、常に学生の学業及び生活状態の把握に務めている。 必要に応じて補講や個別面談を実施し、また状況によっては保護者との面談を実施することにより、退学につながる要因の除去に努めている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	理学療法学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	1 0 2 単位	54 単位	25 単位	21 単位		2 単位
			1 0 2 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
9 0 人		5 2 人	0 人	5 人	1 3 人	1 8 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） - 科目名、開講時期、単位数及びコマ数、授業区分、担当教員、目標、授業概要等を記載した授業計画書（シラバス）を作成している。 - 初回の講義時に、授業の到達目標等を示している。	
成績評価の基準・方法	
（概要） - 学則及び細則において、各科目の修了試験の実施方法、受験資格、単位認定の方法、教育課程の履修及び卒業に関して定めている。 - 各科目の成績評価は、各科目毎の修了試験結果、効果測定、当該科目の出席状況、提出物の評価、学習態度等に基づき、総合的に勘案して行う。 - 修了試験結果が60点未満及び出席時間数が各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達しない者についての成績評価は不可とする。 - 修了試験の結果が「D」の者への再試験、再試験の結果が「D」の者への最終試験の受験機会を与えている。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） - 進級を満たすためには教育課程で示してある各科目において、各科目の授業時間数の3分の2（実習においては5分の4）に達した者が各科目の成績評価を受けることができる。 - 各科目の修了試験、再試験、最終試験において、「C」以上の判定となり、各学年の履修科目全てにおいて合格となり、修了認定を受けた者が進級となる。 - 当該学科の全科目の修了認定を受け、かつ卒業試験に合格した者に卒業を認める。	
学修支援等	

(概要) 学生個々の課題を明確にして、課題に応じた教員のアドバイスにより、早期に課題解決を図っている。 また、進度の遅れている学生には課題を課すなど、進度の遅れを解消するようにしている。
--

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
24 人 (100%)	0 人 (0.0%)	22 人 (91.7%)	2 人 (8.3%)
(主な就職、業界等) 総合病院、専門病院、一般病院、介護老人保健施設			
(就職指導内容) ・ 専門業者を招いてのマナー講座、身だしなみ講座等を開設 ・ 医療福祉関係機関、団体及び会社等による就職（求人）説明会を開催 ・ 図書室内に求人情報コーナーを開設 ・ クラス担任ほか教員による就職相談を実施			
(主な学修成果（資格・検定等）) 理学療法士			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
66 人	5 人	7.6 %
(中途退学の主な理由) 進路変更、成績不振、家庭の事情		
(中退防止・中退者支援のための取組) 各クラスには担任を配置し、常に学生の学業及び生活状態の把握に務めている。 また、成績不振者等に対しては必要に応じて補講や個別面談を実施するとともに、状況によっては保護者との三者面談を実施し、情報交換を行い、学生の成績向上とともに普段の生活の安定に努めている。		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授 業 料 (年間)	その他	備考（任意載事項）
救急救命学科	200,000 円	720,000 円	350,000 円	実習費 200,000 円 施設費 150,000 円
理学療法学科	400,000 円	800,000 円	300,000 円	実習費 200,000 円 施設費 100,000 円
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）
https://imwc-ichinoseki.ac.jp/学校概要/情報公開
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）
（実施方法及び体制） - 学校関係者評価委員会の構成は、(1)行政関係者、(2)実習施設関係者、(3)教育に関し知見を有する者、(4)その他学校長が必要と認める者の中から選出した下記の3名による。 - 評価項目は、1. 教育理念・目標、2. 学校運営、3. 教育活動、4. 教育成果、5. 学生支援、6. 教育環境、7. 学生募集活動、8. 財務、9. 法令等の遵守、10. 社会貢献・地域貢献の10項目。 （改善方策の実施時期等） - 学校関係者評価委員会が出された意見については、4月の学校経営計画の策定の際に反映できるように務める。 - 施設整備等で直ちに実施が難しい事項については、法人本部と情報を共有し、早期に改善できるように努める。 - 教務に関する事項については、毎月開催する職員会議において教職員間で情報を共有し、課題の優先度を勘案し、改善可能な項目から順次改善するように務める。 （改善対策の責任者等） - 改善対策は、学校長が責任者となって実施にあたる。

学校関係者評価の委員		
所 属	任期	種別
一関市消防本部	始 2023. 4. 1 ～ 終 2025. 3. 31	実習施設関係者
医療法人啓愛会 美希病院	始 2023. 4. 1 ～ 終 2025. 3. 31	実習施設関係者
摺沢振興会	始 2023. 4. 1 ～ 終 2025. 3. 31	その他学校長が必要と認める者
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
https://imwc-ichinoseki.ac.jp/学校概要/情報公開		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)	
ホームページアドレス	https://imwc-ichinoseki.ac.jp/